

艶深く、其の町家。

－鳳瑞町の町家－

工事種類：改修
建築面積：約71.60㎡
延床面積：約86.15㎡
木材使用量：約15㎥うち京都産材2.2914㎥

築100年を超える町家の改修において、歴史ある建物の趣を尊重しながら、京都の木を現代の暮らしに生かした。階段、棚、床、壁の一部には、京北でクマに樹皮を剥がされた木材を活用した「ベアーズウッド」を採用。傷をつけられ価値が下がってしまった木材を欠点として隠すのではなく、自然の営みが刻んだ個性として捉え、天然漆で仕上げることで杉の温もりと表情を引き出した。ベアーズウッドを主役とするため、内装は素材や色彩を抑えたシンプルな構成とし、その存在感を際立たせている。町家の記憶を受け継ぎ、京都の森と職人の技を次代へつなぐ住まいを目指した。



玄関

壁と床にはベアーズウッドを使用し、中央には重厚感のある石の式台を設置。素材の質感と町家らしい奥行きを感じられる空間とした。





LDK

太い梁や柱を生かした落ち着きのあるリビング。吹き抜けの開放感と天窓からの光が心地よく、南側の中庭を眺めながらゆったり過ごせる。壁面にはベアーズウッドの造作棚を設け、暮らしに合わせて使える空間とした。



外観

町家らしい格子戸や深い軒を残し、黒を基調とした外観に整えた。伝統的な雰囲気を生かしながら、すっきりとした印象に仕上げた。